令和6年かすみがうら市教育委員会6月定例会 会議次第

日時 令和6年6月20日(木) 午前10時～
場所 霞ヶ浦コミュニティセンター 研修室2

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 教育長報告
- 4 議題
 - (1) 報告第3号 かすみがうら市学区審議会委員の解嘱及び委嘱について
 - (2) 報告第4号 かすみがうら市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
 - (3) 報告第5号 令和6年度かすみがうら市一般会計補正予算(第3号)について
- 5 その他
- 6 閉会

令和6年かすみがうら市教育委員会6月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年6月20日(木) 開会 午前10時00分
閉会 午前11時10分
- 2 開催場所 霞ヶ浦コミュニティセンター 研修室2
- 3 出席委員 教育長 井坂庄衛
委員 稲生耕一(教育長職務代理者)
委員 中島和彦
委員 坂本雅子
委員 梶本梓
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者
教育部長 加藤洋一
学校教育課長 斎藤隆男
生涯学習課長 乾文彦
スポーツ振興課長 由波大樹
生涯学習課副参事(兼)学校教育課副参事(兼)スポーツ振興課副参事 福島真
教育指導室長 坂本篤也
歴史博物館 資料担当係長 大久保隆史
図書館長 鈴木教男
霞ヶ浦公民館長 岩田幸生
学校教育課 課長補佐 中村基紀(書記)
学校教育課 総務担当 永谷恵(書記)
- 6 議題
(1) 報告第3号 かすみがうら市学区審議会委員の解嘱及び委嘱について
(2) 報告第4号 かすみがうら市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
(3) 報告第5号 令和6年度かすみがうら市一般会計補正予算(第3号)について
- 7 その他
- 8 傍聴者 なし

9 会議の概要

開会 午前10時00分

事務局 起立、礼、着席。
それでは、これより教育委員会を開催したいと思いますので、教育長、よろしく願いいたします。

教育長 おはようございます。
それでは、本日は4名の委員さんが出席されておりますので、会議は成立いたします。

これより、令和6年かすみがうら市教育委員会6月定例会を開催いたします。

本日は公民館に関する議案があるため、公民館事業を事務委任している市長部局の地域コミュニティ課より、岩田霞ヶ浦コミュニティセンター長兼霞ヶ浦公民館長が出席しております。

最初に、事前に送付いたしました5月定例会の会議録について、訂正等の連絡はありませんでしたので、こちらを決定稿とさせていただき、教育委員会のホームページへ掲載させていただきます。

続きまして、「教育長報告」について、私から、ご報告させていただきます。

(資料に基づき6～7月の教育長動静について報告)

教育長 ただいまの報告について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

(「質疑なし」の声あり)

教育長 それでは議事に入る前に、令和6年かすみがうら市議会第2回定例会において、教育委員会に関する一般質問がございましたので、その内容について教育部長より、報告をお願いいたします。

教育部長 それでは、別途配布しております一般質問の資料をご覧ください。令和6年市議会第2回定例会における一般質問及び答弁内容の概略について、ご報告いたします。

まず、会期は6月4日から6月18日までの15日間でした。

発言通告は10名の議員からあり、そのうち教育行政の発言通告は、6名の議員からありました。通告者及び質問主題については、資料の通りでございます。

まず、1人目の櫻井健一議員ですが、下稲吉地区内小中学校の災害対策と訓練について、2点ほど質問がありました。

1点目は、災害対策と訓練の取り組み状況についての質問があり、答弁としましては、「合同引き渡し訓練」「シェイクアウト訓練」「不審者対応訓練」のほか、学校により火災対応にかかる「避難訓練」を実施しております、と答弁をしております。

2点目の、引き渡し訓練における成果及び課題と今後の対応についての質問に対して、市内全域で同日に訓練を実施しており、その際車での迎え

が集中したことから、学校周辺の道路が渋滞するなどの事案が発生いたしました。昨年度も同様の現象があり、本年度は訓練の設定時間を20分ほどずらすなどの工夫を試みましたが改善には至らず、このような状況は大きな反省点でありますので、訓練内容を見直すとともに、訓練に協力くださる保護者のご理解を図りながら改善に努めてまいります、と答弁しております。

次に、佐藤議員から、教育費の保護者負担の軽減について、これまでの成果と今後の取り組みについての質問がありました。『教材費の保護者負担解消』におきまして、これまで、カスタネット、彫刻刀、ハサミ、それから1人1台端末の操作に利用するタッチペン等は公費負担として対応整備を進めてまいりました。『学校給食費の無償化』に関しては、前年度の無償化の内容を説明し、さらに本年度4月分からは、市単費により「市立小中義務教育学校に在籍する児童生徒が、同一保護者において2人以上いる場合には、2人目以降の児童生徒の給食費を無償」という措置をとっています、と答弁しております。

再質問として、算数セットの使用頻度、就学援助の状況、さらにつくばみらい市の事例をあげて制服などのリサイクル化についての質問があり、答弁としましては、算数セットは基本的に低学年の1・2年生が使用し、使用頻度としましては、ほぼ毎授業使用しています。就学援助の状況については、国、県の平均及び本市の認定率を説明しております。制服などのリサイクル化については、制服や体操着をPTAのバザー品として提供した事例はありますが、つくばみらい市のような制服などを回収し、低価格で販売するといった取り組みについては、実施していない状況です。今年度、学校を通じてPTAの皆さんに事例の紹介をしていければと考えております、と答弁しております。

次に久松議員から、小中学校及び義務教育学校施設の今後の整備について、3点質問がありました。

まず1点目ですが、下稲吉中学校の屋内運動場のあり方と周辺整備について質問がありました。答弁では、周辺整備は屋内運動場の南側における駐車場等の舗装工事並びに、西側のテニスコート整備、このほかフェンスなどの外構工事を行います。工期につきましては10月末までを予定しているところです。あり方に関しましては、下稲吉中学校の屋内運動場は、本年1月26日から運用を開始し、体育の授業のみならず総合学習などに効果的に活用しており、今後も有効的に活用してまいりますとともに学校教育に支障のない範囲で市民も利用できるよう検討してまいります、と答弁しております。

再質問として、新旧体育館の夜間開放について質問があり、答弁としましては、新旧体育館はいずれも8割から9割を超える利用率となっていることを答弁しております。

続いて2点目は、屋内運動場空調機器整備についての質問がありました。答弁では、下稲吉中学校は、昨年度の本体整備に合わせまして空調機の整備を行いました。霞ヶ浦中学校、千代田義務教育学校後期課程においては、機器の設置のみならず、空調機器の性能を効果的に発揮させるため、断熱効果を向上させるなどの付帯工事や電源の機能強化などが必要となることから、費用負担が大きくなります。このことから、市内学校施設における課題も様々ある中で、優先的な課題を整理しつつ、どのような手法があるか検討してまいります、と答弁しております。

続いて3点目、下稲吉中地区学校給食施設整備についての質問があり、答弁として、現段階におきまして財源の確保など困難であることから、自校方式による施設整備を方針としつつ、新たな整備手法について引き続き

検討を行っているところです。また、現時点においても安全安心な給食を実施するとともに、現在の給食室機能の向上を図るため、真空冷却器など必要な設備の整備を、今年度行ってまいります、と答弁しております。

次に服部議員から、学校給食で少量でも積極的にオーガニック食材を使用できるか、との質問がありました。答弁として、現時点では全量が賄える段階ではないと思われませんが、少量であっても安全、安心な食材を使用した学校給食を積極的に取り組んでまいります、と答弁しております。

次に櫻井繁行議員から、質問主題として、ラーケーション制度、部活動の地域移行、給食施設及び屋内運動場空調整備についての、質問がありました。

まず、ラーケーション制度の1点目、制度の概要についての質問があり、答弁としましては、本市における「ラーケーション」は茨城県の制度に基づき進めており、学校行事等が重なる日程を除き、保護者からの事前の申請により年間最大5日間取得することができ、ラーケーションを取得する日は欠席扱いとはならず、出席を要しない日の取扱となります、と答弁しております。

続いて2点目、本市の導入状況・導入時期について質問があり、本年5月1日からラーケーションの導入を開始し、5月17日時点において、12名の申請があり取得がされております、と答弁しております。

再質問は、取得した12名の内容についての質問があり、取得日数はそれぞれ1日で、行先は工場見学・ミュージアムパーク・レジャーランドなどです、と答弁しております。

続いて3点目、期待される効果について質問があり、答弁として、保護者の休暇に合わせられ、保護者と一緒に活動できることも効果の一つであり、また、文化施設見学など、混雑を避けられ施設が利用しやすく、より深い学びや体験につながるものと考えます、と答弁しております。

再質問では、ラーケーション制度を活用したくても出来ない児童・生徒が出てきてしまうのではないかと懸念について質問があり、答弁としましては、どこかに出かけるだけでなく、将来のことや悩みなどを保護者と話し合う日として設定することもできる旨、答弁しております。

続いて4点目、制度活用の管理体制、問題点についての質問があり、答弁としましては、ラーケーションの取得は、原則1週間前までに保護者から申請することとしており、制度を有効に活用していただくようラーケーションの狙いについても申請時に保護者に確認いただくとともに、必要に応じ学校からの助言指導を行うなどをしております。課題としましては、特に活動の内容に制限がないこと、また、取得後に活動内容等の報告を原則求めないことなどかと思われ、と答弁しております。

次に部活動の地域移行について、3点ほど質問がありました。

まず1点目ですが、部活動地域移行のスケジュールについての質問で、答弁としましては、生徒数の減少に伴う部員数の低下が見られ、部活動離れも進んでいます。特に団体競技は、人数がそろわず、単独校では大会等に出場できない競技が増えています。国は、令和5年度から7年度の3年間を「部活動地域移行改革推進期間」として定めていることから、本市では、スポーツ庁による実証事業の活用と合わせ、部活動移行に関する課題の整理と対策について、検証していく「運営団体」を年内中に設立します。令和8年度から休日部活動の完全移行を目指し、今年度は、先行してハンドボール部、バスケットボール部女子などの5競技について、中体連総体終了後の新人戦以降に実施したいと考えています、と答弁しております。

再質問では、実証事業の具体的な内容と地域移行開始までのスケジュールについて質問があり、答弁として、まず実証クラブの5競技は、1つ目

として下稲吉中学校ハンドボール部女子を母体とした合同チーム、2つ目は霞ヶ浦中学校及び下稲吉中学校2校の合同によるバスケットボール部女子、3つ目は霞ヶ浦中学校卓球部男女、4つ目は千代田義務教育学校卓球部男女、5つ目は霞ヶ浦中学校バレーボール部女子です。活動時期については、本年10月からの開始を予定しており、休日のうち月2回、1回3時間以内による活動とし、指導体制においては、原則1クラブにつき2人体制による指導者の配置を考えております。また、今後のスケジュールについては、本年9月中に中学校及び義務教育学校を対象とした教職員及び保護者への説明会を予定しており、10月を目途に運営団体を設立し、同時期に実証事業をスタートさせたいと考えています。また、令和7年1月から2月にかけて、教職員・保護者・生徒を対象にアンケート調査を実施し、併せて外部部活動指導員の募集を行います、と答弁しております。

続きまして2点目で、地域移行後の管理体制についての質問があり、答弁としましては、運営団体「(仮称)かすみがうら市地域クラブ協議会」を年内に設置し、構成員は各中学校長・保護者代表・スポーツ団体・文化芸術団体・ボランティア団体などの代表者を想定しています。併せまして、教育委員会業務全般の重要事項の企画及び立案等、専門職として教職員経験者1名を本年4月1日付けで、教育CSOとして配置いたしました、と答弁しております。

再質問で、教育CSOについて質問があり、答弁として、まず教育CSOは「教育戦略責任者」と記される役職で、課長級の副参事として配置しています。日々の業務内容として、喫緊の課題とされる「企業連携推進事業」「コミュニティスクール」「部活動の地域移行」の業務を統括・実行するリーダー的な役割として配置しています、と答弁しております。

続きまして3点目、課題や問題点についての質問があり、答弁としましては、まず1つ目は指導者の確保、2つ目は活動する施設の確保、最後に3つ目として運営にかかる経費です。経費のうち主なものとしては指導者への報酬であり、受益者負担が原則という考え方から、保護者からの負担を求めざるを得ない状況です、と答弁しております。

再質問では、他自治体との情報共有について質問があり、答弁として、県内市町村担当者を対象とした「部活動地域移行シンポジウム」に参加し、現状課題を共有したほか、土浦市教育委員会へ訪問し、土浦市の状況や今後の進め方などについて情報共有しました、と答弁しております。

次に、給食施設及び屋内運動場空調整備についての質問があり、答弁としましては、学校給食施設は、自校方式による施設整備を方針としつつ、新たな整備手法について引き続き検討を行っているところです。また、現時点においても安全安心な給食を実施するとともに現在の給食室機能の向上をはかるため、真空冷却器など必要な設備の整備を今年度行ってまいります。

続いて、屋内運動場空調機器整備についてですが、下稲吉中学校については、昨年度の本体整備に合わせまして空調機の整備を行いました。霞ヶ浦中学校、千代田義務教育学校後期課程の整備にあたりましては、機器の設置のみならず、空調機器の性能を効果的に発揮させるため、断熱効果を向上させるなどの付帯工事や電源の機能強化などが必要となることから、費用負担が大きくなってまいります。このことから、市内学校施設における課題も様々ある中で、優先的な課題を整理しつつ、有効な財源を確保し計画的な整備を検討してまいります、と答弁しております。

次に小倉議員から、子ども達の成長を見守る体制作りについて、3点質問がありました。

まず1点目として、不登校・虐待・いじめに対する取り組みについて質

問があり、答弁では、不登校児童生徒についてですが、令和5年度の状況を見ますと全体で前年同程度ですが、市全体の児童生徒数が減少している中では、比率が増えているといった状況となっております。また、登校できない児童生徒の受け皿として、適応指導教室「ひたちの広場」に令和5年度からは「霞ヶ浦分室」を設置しております。また本年度から中学校及び義務教育課程後期に校内フリースクールを設置するなどし、不登校となっている児童生徒の居場所を確保しながら学校へ登校ができるよう支援を図っています。虐待につきましては、コロナ禍で家庭から外に出られない、親世代は仕事に行けないなど様々な要因から、家庭内での虐待等が心配されていたところですが、本市におきましては、そのような事案発生は見受けられませんでした。虐待が疑われる事案等がある場合には、児童相談所をはじめとする関係機関と連携しながら、児童生徒の保護に努めてまいります。いじめについてですが、いじめの認知件数は年々減少傾向にあります。対応といたしましては、児童生徒がいじめに関する訴えをしやすいうよう、児童生徒に対するアンケートの実施並びに1人1台端末を通じた相談の受付を実施しております。また、いじめや人権の模擬体験をするロールプレイ型のワークショップを4年生、7年生を対象に継続的に実施しているところです。このような取り組みを継続し、不登校やいじめのない学校づくりに努め、児童生徒の成長を見守ってまいります、と答弁しております。

続いて2点目、中学校、義務教育課程修了後の進学や就職についての質問があり、令和5年度9年生の進路につきましては、概ね99%の生徒が高等学校へ進学となっております。そのほかの生徒は在家庭となっております。今後も、生徒並びに保護者の希望などに寄り添いながら適切な進路指導に努めてまいりたいと考えております、と答弁しています。

続いて3点目、GIGAスクールの取組の進捗状況について質問があり、答弁としましては、文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、本市においては令和3年度に、市内小中学校に1人1台端末並びに校内ネットワークを整備したところであり、活用しながら各授業に取り組んでいるところです。今後も整備された環境を最大限活用しながら教育内容の充実に取り組んでまいります、と答弁しております。

再質問として、子ども達の体力度・学力度の質問があり、体力テスト及び学力テストの結果内容について、答弁しております。

説明は、以上です。

教 育 長

ただ今の一般質問の答弁内容について、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

坂 本 委 員

最初の櫻井議員からの質問にありました、下稲吉中地区の引き渡し訓練についてですが、引き渡し訓練自体は、広域的な災害が発生した時のために、市内学校が一斉に対応をシミュレーションする目的のものだと思います。いろいろ課題があったというご報告をいただきましたが、その課題の解決のために、訓練時に混乱が起きないように時間をずらす、という方向に行ってしまうのでしょうか。

訓練のそもそもの目的は、災害時に児童生徒が単独で帰ることが出来ないため保護者に迎えに来てもらう、そのために保護者の協力が必要となることから行うものですので、混雑・混乱が起きるのは大前提だと思います。混乱が起きないように訓練にするのではなく、その混乱状態の中でどれだけ子どもの安全が図れるか、という方向で考えることが大事だと思います。子ども子育て支援という意味でも、経済的負担や混乱が起きないように

にすることも大事な支援ですけれども、そのことを地域の人や保護者の方、周りの企業の方が理解して協力してくれる、という考え方も大事だと思います。「この日にこういった訓練がある」ということを、地域の皆さんにも周知して、協力していただくという支援の方法も、必要ではないかなと思います、今後について意見を述べさせていただきました。

教 育 部 長

ご意見ありがとうございます。災害はいつどこで起こるのかわからないものですので、本来は誰も知らない中で一斉に訓練をする、ということが一番いいのかもしれませんが。引き渡し訓練の実施時は昨年も道路が混雑してしまい、今年度は対策として20分ほど時間をずらして実施をしたものの、混雑が生じてしまったという経過がございます。一つの対策としましては、現在下稲吉中学校の体育館前の駐車場を整備しているところですが、ロータリーのように一方向から入るといった車のルートを確保することも、混雑を解消する一つの解決方法かと思えます。

今いただきましたご意見についても、今後学校と協議をしながら、来年度に向けて取り組んでまいりたいと思います。

坂 本 委 員

ありがとうございます。

教 育 長

より現実的な訓練をするべきなのでしょうが、それについては徐々に解決していくべき問題がありますので、今後についてはまた協議したいと思います。

それ以外はいかがでしょうか。

(「質疑なし」の声あり)

教 育 長

一般質問10人のうち6人の議員さんから、教育行政に関する質問がありました。議員の皆さんも非常に教育に関心が高いところですので、執行部を含めて、しっかりと進めて行ければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは特に質問が無いようですので、議事に入ります。

報告第3号「かすみがうら市学区審議会委員の解嘱及び委嘱について」を議題といたします。

事務局学校教育課より、説明をお願いいたします。

学 校 教 育 課 長

それでは、資料3ページをお願いいたします。

報告第3号「かすみがうら市学区審議会委員の解嘱及び委嘱について」でございます。標記の件について、かすみがうら市学区審議会条例第3条の規定に基づき、別紙のとおり解嘱及び委嘱したので、かすみがうら市教育委員会事務専決規程第2条第2項の規定により報告し、教育委員会の承認を求めるものでございます。

学区審議会委員におきましては、市内小中義務教育学校PTA役員のほか、学識経験者として市議会議員・市区長会役員・子どもに関連する団体の役員・市内学校長などの中から推薦いただき、学区審議会委員として委嘱を行っております。今年度4月以降においてPTA役員等の改選、並びに教職員の異動がありましたことから、学区審議会委員の解嘱・委嘱を行うものとなります。

次の4ページをお願いします。解嘱者並びに委嘱者につきましては、一覧にありますそれぞれ6名ずつとなります。内訳としましては、PTA役員が3名、学識経験者が3名となっております。任期につきましては、前

任者の残任期間である令和7年10月31日までとなっております。資料5ページに、新たな委員を含めた全体の名簿を載せておりますので、ご確認いただければと思います。

説明については以上でございます。

教 育 長 ただいまの説明について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

(「質疑なし」の声あり)

教 育 長 質疑がないようですので、報告第3号については、報告のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 ご異議なしと認めます。
よって、報告第3号については、報告のとおり承認されました。
次に、報告第4号「かすみがうら市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について」を議題といたします。
市長部局地域コミュニティ課の霞ヶ浦公民館長より、説明をお願いいたします。

霞ヶ浦公民館長

霞ヶ浦公民館長の岩田です、よろしく申し上げます。

資料6ページ、報告第4号「かすみがうら市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について」についてです。標記の件について、かすみがうら市公民館設置及び管理等に関する条例第5条の規定に基づき、別紙のとおり解嘱及び委嘱したので、かすみがうら市教育委員会事務専決規程第2条第2項の規定により報告し、教育委員会の承認を求めるものです。

7ページをお願いいたします。今回解嘱・委嘱させていただく人数は3名で、社会教育関係者でございます。一様は区長会、一様・一様はPTA連絡協議会からの推薦をいただいておりますが、各関係総会において役員が変更となったことから、解嘱させていただきます。新たな委嘱者とし、区長会からは一様、PTA連絡協議会からは一様・一様を委嘱させていただきたいと思っております。委嘱期間については前任者の残任期間となっておりますので、令和6年4月1日から令和7年3月31日までとなります。

8ページは公民館運営審議会委員の全ての名簿となっておりますので、ご覧になっていただければと思います。説明は以上となります。

教 育 長 ただいまの説明について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

(「質疑なし」の声あり)

教 育 長 質疑がないようですので、報告第4号については、報告のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 ご異議なしと認めます。

よって、報告第4号については、報告のとおり承認されました。
次に、報告第5号「令和6年度かすみがうら市一般会計補正予算（第3号）について」を議題といたします。
教育部長より、説明をお願いいたします。

教 育 部 長

資料9ページ、報告第5号「令和6年度かすみがうら市一般会計補正予算（第3号）について」、ご説明申し上げます。

茨城県を通じて令和5年度中に事業申請を行っていた、スポーツ庁の地域スポーツクラブ活動体制整備事業、令和6年度の運動部活動の地域移行に向けた実証事業に関して、本年度に入り茨城県を通じて配分予定額、県支出金の内示額が提示されております。これにより、当該配分予定額及び事業費の予算計上とともに、6月中に県・市間での事業にかかる委託契約締結を要することになったため、かすみがうら市議会第2回定例会への補正予算として、議会の議決を求める必要が生じたものでございます。

つきましては、教育委員会の会議を開催する時間的余裕がなかったことから、かすみがうら市教育委員会の教育長に対する事務委任規則第3条及びかすみがうら市教育委員会事務専決規程第2条第2項の規定により報告し、教育委員会の承認を求めるものでございます。

10ページをお願いいたします。こちらは市長部局からの意見聴取の文書となっております、11ページが教育長の専決処分書でございます。

次に13ページ、14ページの補正予算をご覧ください。13ページが歳入、14ページが歳出の補正予算となっております、それぞれ82万5千円を追加するというものでございます。

詳細につきましては、学校教育課長よりご説明申し上げます。

教 育 長

それでは学校教育課長、お願いいたします。

学 校 教 育 課 長

資料の15ページをお願いいたします。初めに歳入予算についてご説明します。16款県支出金、3項県委託金、5目教育費県委託金、1節部活動地域移行委託金、補正予算額82万3千円、部活動地域移行実証事業委託金となります。

この委託金につきましては、スポーツ庁が公表しました学校の働き方改革を踏まえた部活動改革において、改革の第一歩として、休日の部活動を段階的に地域のスポーツ活動に移行することとしていることから、子ども達が地域でスポーツに継続して親しめる環境整備を進める際の課題解決に取り組むための実証を行う事業として、県から市町村教育委員会へ委託されるものとなります。補助率は10分の10となります。

続いて資料の16ページの、歳出予算をお願いいたします。10款教育費、3項中学校費、1目中学校管理費、01生徒支援事業、0104中学校部活動支援に要する経費、補正予算額82万5千円となります。部活動地域移行実証事業に係る経費を計上したものでございます。説明欄にあります7節地域クラブ活動指導者謝礼につきましては、移行実証を行う部活動を5つの部活動としており、それに携わる指導者に対する講師謝礼となります。次に11節保険料については、同じく指導者を対象に加入する、スポーツ保険の保険料となります。

なお、歳入においてご説明したとおり補助率が10分の10であるにもかかわらず、歳入が82万3千円、歳出が82万5千円と差が生じております。こちらは予算積算のルール上、歳入は予算科目ごとに千円未満の端数を切り捨て、歳出は千円以上の端数を切り上げとしているための差額でございますので、補足させていただきます。

説明については以上でございます。

教 育 長 ただいまの説明について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

(「質疑なし」の声あり)

教 育 長 質疑がないようですので、報告第5号については、報告のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 ご異議なしと認めます。
よって、報告第5号については、報告のとおり承認されました。
以上で、本日の付議案件の審議は、すべて終了いたしました。
次に、事業報告及び事業計画の事項に入ります。
学校教育課より、順次、説明をお願いいたします。

(学校教育課の事業報告及び事業計画について資料に基づき説明)

(生涯学習課の事業報告及び事業計画について資料に基づき説明)

(スポーツ振興課の事業報告及び事業計画について資料に基づき説明)

(学校教育課教育指導室の事業報告及び事業計画について資料に基づき説明)

(歴史博物館の事業報告及び事業計画について資料に基づき説明)

(図書館の事業報告及び事業計画について資料に基づき説明)

教 育 長 ただいまの説明について、何かご質問等がございましたらお願いいたします。

(「特になし」の声あり)

教 育 長 無いようですので、続いて、その他の事項に移ります。
その他、報告事項又は質問等がありましたらお願いします。

教 育 指 導 室 長 前回の教育委員会において稲生委員からご質問のありました、不登校の人数について、ご報告させていただきます。令和6年5月時点の人数ですが、10日以上欠席者が64名でございます。そのうち30日以上欠席している児童生徒は22名、そのうち不登校として報告をしている者は18名となっております。また、全欠の児童生徒が5名おります。令和5年度と比較しますと、不登校として報告している人数は36名でしたので、およそ半数となっております。ただこの人数につきましては、昨年度の9年生に不登校生徒が15名おり、その人数が抜けた数に近くなっておりますので、個々の児童生徒で考えますと、数名の改善は見られておりますが、大きな増減があったわけではありません。この人数につきましては、今後月が進んでいきますと、もう少し人数が増えていくことも予想されます。

また、中島委員からご質問がございました新規採用教員につきまして、今年度は8名配置されておりますが、現時点では全員元気に勤務いただいている状況でございますので、ありがたいと思っております。

私からのご報告は以上でございます。

教 育 長 ありがとうございます。稲生委員、よろしいでしょうか。

稲 生 委 員 全欠が5名ということで、その子ども達への関りは、学校がしっかりもってくださっていると思っておりますが、やはり学校へ来ていない子どもの姿は見えないため、どうしても目の前にいる子ども達の方に手を差し伸べてしまうことになりがちだと思います。本人だけではなく保護者もあわせて、継続的に学校として関わりを持ってほしいと思います。「チーム学校」として、担任の先生や学年の先生だけでなく、学校全体で、対応いただければと思っております。よろしく願いいたします。

教 育 長 それ以外はいかがでしょうか。

（「特になし」の声あり）

教 育 長 その他、特になければ、次回定例会の日程を決めたいと思います。
次回の教育委員会7月定例会は、令和6年7月24日（水曜日）午前9時から、霞ヶ浦コミュニティセンター研修室2で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 それでは、そのようにいたします。
ここで、委員の皆様にご報告がございます。
かすみがうら市議会第2回定例会において、教育委員会教育長及び委員の人事案件がございましたので、その内容について、教育部長より報告をお願いいたします。

教 育 部 長 6月18日に、市議会第2回定例会におきまして、市長より6月24日をもって任期満了となる教育委員会教育長及び委員に関する人事案件が提出され、同日市議会からの同意が得られました。

それを受けまして、教育長には、現職の井坂教育長が再任されることとなりました。教育長の再任後の任期は、令和6年6月25日から令和9年6月24日の3年間となります。

また、委員に関しては、中島委員が任期満了で退任され、後任には松信亮平氏に、就任いただくこととなりました。松信委員の任期は、令和6年6月25日から令和10年6月24日までの4年間となります。

以上、ご報告申し上げます。

教 育 長 ただいまのご報告にありましておおり、中島委員におかれましては、6月24日の任期満了をもって退任されるということになりますが、中島委員は、平成19年6月20日に教育委員会委員に就任いただいて以来、5期17年にわたり、本市の教育行政を支えていただきました。この間、本市の教育環境においては、教育委員会制度並びに組織の改編のほか、平成26年の霞ヶ浦中学校をはじめ、平成28年の霞ヶ浦南小学校・霞ヶ浦北小学校、令和4年の千代田義務教育学校の開校にかかる学校の統廃合な

ど、様々な変革がございました。

このような変革もありながら、今の教育行政が円滑に進んでいるのは、常々、中島委員が熱心に教育現場に足を運んでいただいていることや、普段から、次代を担う子どもたちを思いやるお気持ちと深い見識からなるご意見やご助言があつてこそのものであると、考えております。

長年にわたる中島委員のご尽力に、改めて深く感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

それでは中島委員より、ごあいさつをいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

中 島 委 員 (あいさつ)

教 育 長 ありがとうございます。
以上で、本日の教育委員会6月定例会を閉会いたします。
お忙しい中、ご審議、誠にありがとうございました。

事 務 局 起立、礼。

閉会 午前11時10分

- 10 議決事項 報告第3号について承認
報告第4号について承認
報告第5号について承認